

平成27年度各区活動概要

	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区
年間テーマ	○当事者の思いを大切に、ライフステージにあった支援を考える。 ○生涯を応援するネットワークを模索する。	○「届けよう当事者の声、つなげよう支援の輪」～それぞれの職種の連絡会をつなげよう～ ○上記テーマを元に交流会を行いつつ、各交流会、地域からあがった「つぶやき」を元に取り組みを行う。	○地域と要援護者を結びつける防災ネットワーク作り  ○地域のニーズを拾い上げ、課題を解決するためのネットワーク作り	住み続けたい西区になるために	○お互いの役割を知り、連携を深めよう ○地域のネットワークを拡げよう（支援学級、支援学校との連携をより深めよう） ○相談支援や地域生活における課題をともに考えよう	○啓発：北区域交流まつり2015に参加し、市民啓発を行う ○発達障害について学ぶ	地域とつながる自立支援協議会 ～障害理解のある美原を目指す～
主な活動内容	○4月～9月、高齢機関との連携についてグループで議論を行い、障害福祉サービスから介護保健移行について（65歳問題）情報共有を目的とした研修会「支援者交流会～切れ目のない支援を目指して～」を11月20日に開催する。 ○4月～9月、障害児の相談支援についてグループで議論を行い、教育・福祉における教育支援計画と個別の支援計画の情報共有を目的とした研修会「障害児のシームレスな支援を目指して～教育と福祉の垣根をこえて～」を12月18日に開催する。 ○10月以降、グループ別に、2つのテーマ（本人家族の分離に向けた取り組みについて・支援にむすびつかない人）について議論を継続している状況。	○定例会議 ・子ども相談所と「虐待対応について」意見交換。（26年度の積み残し課題） ・「当事者活動を知ろう」をテーマにHC、社協、こころ、参加機関の取組み、社会資源の共有。 ・各機関の災害時の体制、取り組みなど意見交換。 ・「卒業を迎える児童への支援」をテーマに泉北支援学校と意見交換。 ○指定相談交流会 ・「発達障害について理解を深める」を目的で①アプリコットより講義形式で研修開催。②交流会内で事例を用いて勉強会。 ・難病について「医療と福祉の連携」をテーマに長期療養型病院のDrを招いて講義、相談事業所、訪問看護事業所も交えた座談会、GW形式で研修開催。 ・放課後等デイとの交流会：2回 ①事業所同士の紹介、GW。 ②指定相談と放課後等デイの連携を事例を通して考える。GW。 ○作業所交流会 <4つのワーキンググループ> ・ナカナカマネットワークG 役所内にて年3回自主製品販売。販路拡大、地域啓発の為に校区福祉委員会へのアピール。ポスターの作製。販売についてのルールを作成。中区フェスタへの参加。 ・事業所見学情報共有G 作業所見学ツアー、作業所紹介冊子作成。 ・当事者交流G 当事者交流会開催 ・援助技術向上G 研修2回開催。①更生相談所、ヘルデさかいからPTを招き、「適正な補装具の選定についてテーマ」で講義、作業所内での介助での困りごと等GW。 ②ヘルデさかいからPTを招き、効果的な介助の方法（腰痛対策）講義	○防災の取組み ・作業所の避難訓練 ・当事者部会との交流（東区の取組み報告、意見交換） ・避難所運営アドバイザー事業 ・区民まつり（防災クイズ、防災グッズの展示等） ・しらさぎ・えると合同まつり（非常食の試食、防災グッズの展示、新聞紙スリッパ作り体験等）  ○地域の課題とつながり ・高齢者関係機関との情報交換会（協働型・共生型の地域資源の開発について） ・地域活動担い手交流会（協議会の周知と地域の課題収集、年2回） ・美原区協議会との交流会（地域性、活動内容、啓発について意見交換） ・事例検討（障害児の支援体制について意見交換）	○市域向け研修『障害者自立支援協議会とは』を開催（4/23）○事例検討「大事な視点～なぜ私の想いが伝わらないのだろうか～」を開催（7/23）○討論会「大事な視点～それって本当に私達のため?～（11/27） ○年間を通じて「西区ヘルパー交流会」（6/17・1/27）および世話人会を開催。 ○西区民生委員児童委員協議会障害者福祉委員会研修会への協力。（12/17）西区民生委員児童委員会協議会会長を講師に招き『民生委員活動について』『障害者を支える相談支援体制について』 ○年間を通じて、「西区で使える社会資源」に関する情報収集及び情報で更新作業を行う。	○ネットワーク研修会（『堺市難病患者支援センター』『視覚・聴覚障害者センター』『すてっぷ・堺』の業務内容紹介6月） ○事業所見学会（児童心理治療施設『あゆみの丘』11月） ○事業所向け精神研修（講師：『南保健センター』2月） ○ワーキンググループ ①「府営住宅の移転を考えるグループ」 ・府住宅整備課担当者より泉北ニュータウン移転建替事業についての説明 ・地域の現状と課題についてのワークショップ ・三原台住宅フィールドワーク ・府、民生委員会、協議会メンバーによる共同会議の実施 ②「支援学校、支援学校との連携グループ」 ・初等教育研修会特別支援教育部会での福祉サービス等の説明 ・中等教育研修会特別支援関連で、福祉専門機関の説明および意見交換 ・南区内の小中学校コーディネーターに対して、福祉サービスについてのアンケート実施	○北区域交流まつりに参加に向けて、啓発物準備。まつり当日には啓発活動の実施。 ○「きたきてまっぴ～北区作業所まっぴ～」の作成。完成した物を作業所・協議会構成機関等に配布し、社会資源の啓発を実施。 ○発達障害についてワーキングの開催 ・基礎研修（6月） ・事例紹介（8月） ・施設見学（10月） ・当事者グループとの交流会（12月）	【会議運営】 ・定例会の内、年3回全体会 ・取り組みを前期「障害理解について」後期「児童について」と分け開催（専門機関は内容に応じ参加） 【取り組み内容】 ○美原での障害理解についてインタビュー開催（地域の事業所と美原で働いている当事者に聞き取り） ⇒配布物作成（すこやかフェスタ、当事者交流会等配布） ⇒小学生向けパネル作成（合理的配慮についての説明も加え） ○すこやかフェスタ（地域のまつり）に参加。小学生に向けた障害理解への啓発。（障害体験や当事者による点字・手話講座、配布物、パネル展示等） ○当事者・家族団体交流会開催 ○児童について事例検討会、意見交換会、西浦支援学校見学会 ○風の広場授産製品販売会運営 ○高齢分野との合同勉強会 ○東区協議会との交流
その他（成果物等）				○社会資源集		○「きたきてまっぴ～北区作業所まっぴ～」	○障害理解についてインタビュー（配布物・パネル）